

システム農学会2012年度秋季一般研究発表会プログラム

日時・会場

2012年11月3日(土) 9:30~15:00
信州大学農学部南箕輪キャンパス

発表者への注意事項

- 発表時間は報告12分、質疑3分です。
- 発表者は、セッション開始前までにプレゼンテーションファイルを会場の機器にコピーしてください。

発表プログラム

A会場

9:30-10:45 座長:齋藤元也(東京工業大学)

- A01 ○藤田温斗(鳥取大院)・長澤良太(鳥取大)
ジャワ島におけるMODIS、NDVI値の地域分布特性と水田抽出精度の検討
- A02 ○福島あすか(鳥取大院)・長澤良太(鳥取大)
ジャカルタ大都市圏(JABODETABEK)における都市化と近郊地域の景観パターンの解析
- A03 ○Do Thi Viet Huong・Ryota Nagasawa・Kazunobu Tsutsui (Tottori Univ.)
Analysis of urban expansion and flood risk change in Da Nang city in Central Vietnam
- A04 ○上佳孝・小山里奈(京都大院情)
テクスチャ解析による地上写真を用いた植生調査手法の提案
- A05 ○森田太一・今井靖晃・赤松幸生(国際航業)・武田知己・鹿志村修(宇宙システム開発利用推進機構)
ハイパースペクトルデータを用いたオーストラリア小麦の生育モニタリング

10:45-10:55 休憩

10:55-12:10 座長:水野啓(京都大学)

- A06 ○関戸一平・川島博之(東京大農)
水資源の不足がインドのコメ生産に与える影響
- A07 ○Sanara Hor, Kei Mizuno, Shintaro Kobayashi (Kyoto Univ.), Thea Seav, Vinichhai Boeurn (Royal University of Agriculture)
Traditional Agricultural Practice on Shifting Cultivation of Djarai Ethnic Group in Northeastern Cambodia
- A08 ○Vu Tuan Minh, Kei Mizuno, Shinya Funakawa (Kyoto Univ.)
Home garden practices and crop contribution to livelihood in mountainous villages of central Vietnam
- A09 ○寺谷 諒・酒井微朗(京都大院情)
社会的要因を考慮した都市郊外部における農地変化の分析と予測 ~大阪府を事例として~
- A10 ○小村陽平(京都大院地球)・田中樹・佐々木タ子・清水貴夫(地球研)・真常仁志(京都大院農)
サヘル地域の村落における出稼ぎ—ニジェール南部の農耕民ハウサの村落を事例に—

12:10-13:10 昼食

13:10-14:40 座長:小川茂男(農研機構本部)

- A11 ○内田 諭・南雲不二男(国際農研)
高空間分解能衛星データとデジタル標高データによるガリー侵食発生状況の把握
- A12 ○後藤誠二郎・粟屋善雄(岐阜大)・神田里喜・園山英昭(岐阜県林政部)
RapidEye衛星のRedEdgeバンドを用いた森林タイプ分類の精度向上に関する検討 - 岐阜県御嵩町を例とし
- A13 ○石塚直樹(農環研)・牧野司(道総研根創農試)
ALOS/PALSAR データを用いた飼料用トウモロコシ作付圃場把握の試み
- A14 ○長澤良太(鳥取大)・藤田温斗・Dandy Aditya・Lissa Yavusman(鳥取大院)
MODISによる水田抽出と現地踏査との照合精度検証—西ジャワ州バンドン近郊の事例—
- A15 ○岡本勝男(農環研)
Landsatデータを用いた遠州灘の海岸線変化検出:天竜川河口を中心に
- A16 ○齋藤元也・関晴之・宇都有昭・小杉幸夫(東工大)・東健木・左高巧船(イメージワン)
簡易空中分光測定システムの試作

14:40-14:50 休憩・表彰式準備

14:50-15:00 優秀発表賞(北村賞)表彰式

15:00
閉会

B会場

13:10-14:40 座長:板野志郎(農研機構畜産草地研究所)

- B01 ○櫻井聡一郎・星川和俊・泉山茂之(信州大農)
木曾山脈東斜面に生息するツキノワグマの環境利用の特徴
- B02 ○植山秀紀(農研機構近中四農研)・加藤雅宣・池上勝(兵庫農技総セ)・川向肇(兵庫県立大)
山田錦最適作期決定システムにおける50mメッシュ気温情報の改良
- B03 ○河合洋人・粟屋善雄(岐阜大流研セ)・秋山侃(岐阜大)
空中写真とLiDARデータを用いた竹林拡大特性の解析
- B04 ○堤道生(農研機構近中四農研)・引田久美子(山口県農総技セ)・高橋佳孝・山本直幸(農研機構近中四農)
広域連携周年放牧を導入した肉用牛繁殖システムのLCA
- B05 ○朴壽永・朴鍾杰・原田一平・Kevin Short・原慶太郎(東京情報大)
温帯林の植生域におけるメタン(CH₄)発生量の推定—ドイツのNeuglobsowと日本のRyoriを対象にして—
- B06 ○築城幹典・前田武己(岩手大農)
草地・飼料畑土壌における炭素蓄積および温室効果ガス発生量の試算